

令和5年度第1回

アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会総会 次第

日時：令和5年6月6日（火） 9:30～9:55

場所：ホテル札幌ガーデンパレス 2階 白鳥

【開会挨拶】

アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道
実行委員会 会長 鈴木 直道（北海道知事）

【議事】

- | | | |
|-------|---------------------------|-----|
| 第1号議案 | 令和4年（2022年）度事業報告、決算及び監査報告 | 資料1 |
| 第2号議案 | 令和5年（2023年）度事業計画及び予算 | 資料2 |
| 第3号議案 | 実行委員会規約の改正について | 資料3 |

【資料】

- | | |
|--------|----------------------------------|
| 資料1-1 | 令和4年（2022年）度 事業実施報告 |
| 資料1-2 | 令和4年（2022年）度 決算書 |
| 資料1-3 | 令和4年（2022年）度 監査報告書 |
| 資料2-1 | 令和5年（2023年）度 事業計画 |
| 資料2-2 | 令和5年（2023年）度 予算書 |
| （参考資料） | ATWS 北海道実行委員会の主な取組 |
| 資料3 | アドベンチャー・ワールドサミット北海道実行委員会規約 新旧対照表 |

令和5年度第1回
アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会総会 出席者名簿

【委員】

機 関 名	役 職 名	氏 名	備 考
北 海 道	知 事	鈴 木 直 道	会長
(公 社)北 海 道 観 光 振 興 機 構	常 務 理 事 兼 事 務 局 長	木 原 昌 良	【代理出席】
札 幌 市	市 長	秋 元 克 広	副会長
釧 路 市	市 長	蝦 名 大 也	副会長
帯 広 市	市 長	米 沢 則 寿	副会長
稚 内 市	副 市 長	川 野 忠 司	【代理出席】
旭 川 市	市 長	今 津 寛 介	副会長
国 土 交 通 省 北 海 道 運 輸 局	局 長	岩 城 宏 幸	副会長
経 済 産 業 省 北 海 道 経 済 産 業 局	局 長	岩 永 正 嗣	副会長
北 海 道 経 済 連 合 会	会 長	真 弓 明 彦	監事
北 海 道 経 済 同 友 会	専 務 理 事 事 務 局 長	樋 口 理 義	【代理出席】
(一 社)北 海 道 商 工 会 議 所 連 合 会	常 務 理 事	佐 藤 季 規	【代理出席】
北 海 道 商 工 会 連 合 会	専 務 理 事	鳴 海 拓 史	【代理出席】
北 海 道 アドベンチャートラベル協議会	副 会 長	水 口 猛	【代理出席】
(一 社)北 海 道 体 験 観 光 推 進 協 議 会	代 表 理 事	坂 本 昌 彦	
日 本 航 空 (株)	執 行 役 員 北 海 道 支 社 長	林 浩 一	
全 日 本 空 輸 (株)	札 幌 支 店 長	田 部 敏 之	
(株) A I R D O	マ ー ケ テ ィ ン グ 本 部 長	西 山 猛	【代理出席】
北 海 道 エ ア ポ ー ト (株)	代 表 取 締 役 社 長	蒲 生 猛	
北 海 道 旅 客 鉄 道 (株)	代 表 取 締 役 社 長	綿 貫 泰 之	
(一 社)北 海 道 バ ス 協 会	常 務 理 事	今 武	【代理出席】
(一 社)日 本 旅 行 業 協 会	北 海 道 支 部 長	清 水 伸 一	
(一 社)全 国 旅 行 業 協 会	北 海 道 支 部 長	佐 藤 達 雄	

【顧問】

機 関 名	役 職 名	氏 名	備 考
観 光 庁	(欠 席)		
(独)国 際 観 光 振 興 機 構 (JNTO)	市 場 横 断 プ ロ モ - シ ョ ン 部 長	藤 内 大 輔	【代理出席】
国 土 交 通 省 北 海 道 開 発 局	局 長	石 塚 宗 司	
環 境 省 北 海 道 地 方 環 境 事 務 所	所 長	番 匠 克 二	
林 野 庁 北 海 道 森 林 管 理 局	局 長	上 練 三	
国 土 交 通 省 東 京 航 空 局	(欠 席)		

【事務局】

機 関 名	役 職 名	氏 名	備 考
北 海 道 経 済 部 観 光 局 観 光 振 興 課	観 光 振 興 監	山 崎 雅 生	
	参 与 兼 誘 客 担 当 局 長	榎 信 彦	
	A T 担 当 局 長	後 藤 知 佳 子	事務局長
	A T 担 当 課 長	輿 水 昌 明	
	主 幹 (A T 企 画)	福 田 勝 志	

令和4年(2022年)度事業実施報告

【概要】

本年9月の「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本」開催に向け、昨年度においては、主催団体である ATTA と各種協議を進めながら、実行委員会各構成員が一体となって、開催に向けた準備を進めてきた。各事業の内容については以下のとおり。

【各事業の内容】

1 ATWS2023 実施計画作成（通年）

内 容：会場、食事、ホテル、交通など、開催に関する各事項の基本設計を実施

2 ATWS2023 PSA/DOA の追加コースの選定（4～8月）

内 容：プレサミットアドベンチャー（PSA）、デイオブアドベンチャー（DOA）の追加選定（PSA:道内1コース、道外1コース DOA:6コース）

3 ATWS2022 出展（10月3日～6日）

内 容：スイス・ルガーノで開催された ATWS2022 に参加し北海道を PR

参加者：北海道観光振興機構小金澤会長、釧路市蝦名市長、北海道運輸局岩城局長ほか

(1) ラウンジにおけるPR（10月4日～6日）

日本関係のブースを2つに分けてPRを実施

(ア) Japan Lounge（JNTO、長野県、沖縄県、北海道など）

※北海道酒造組合より提供頂いた日本酒の試飲を行いながら
ラウンジ来訪者に対して北海道のPRを実施
(ジャパンラウンジ全体運営はJNTOが実施)

(イ) 【関連事業】Japan Tour Operator Lounge（道内外旅行会社 8社）

※共同・協業販路開拓支援補助金事業を活用し（公社）北海道観光振興機構が実施。国内ツアーオペレーターと ATWS 参加者との情報交換・商談用テーブルを設置



ジャパンラウンジ
(ATWS2022)

(2) ATTA とのミーティング（10月5日）

内容：ATWS の運営、11月の北海道の会場等視察について、ATTA メンバー及びスイス政府観光局と実務者レベルで意見交換。

(3) ATTA 幹部とのミーティング（10月6日）

内容：ATWS 2022 の所感共有および ATWS 2023 について、
シャノン CEO ほか ATTA 幹部と意見交換

(4) クロージングセッション（10月6日（木）16:00～17:30）

場所：コンベンションセンター ホール（Sala A）

内容：JNTO のプレゼンの後に実行委員会としてのプレゼン、
スイスから日本への引継ぎセレモニー等



クロージングセッション
実行委員会プレゼン（ATWS2022）

4 ATTA 道内視察対応（11月8日～11日）

内 容：ATTA 幹部による会場（札幌コンベンションセンターほか）、
関係宿泊施設、レセプション会場候補地などの視察に対応
視察者：Casey Hanisko ATTA 会長ほか ATTA 幹部 3 名



ATTA メンバー視察（11月）
※札幌コンベンションセンター

5 Post Summit Adventure 造成（通年）

内 容：道内 4 地域における会期終了後（令和 5 年 9 月 15 日～18 日）におけるツアー
開催に向け、実施コース、運営計画等の策定を実施
※実行委員会経費では上川・北宗谷地域を負担。釧路地域・十勝地域は（公社）
北海道観光振興機構負担金事業で実施

6 広報宣伝活動（通年）

- ・時 期：通年
- ・内 容：実行委員会 HP による情報発信
メディアへの情報提供
JP01 による特集記事掲載（令和 4 年夏号）、ロゴ制作

7 事務局運営

（1）会議等運営（通年）

- ・内 容：実行委員会総会（5、9、11、3月）
実行委員会幹事会（5、9、10、2、3月）
ATTA とのテレビカンファレンス（通年 計 20 回）
実行委員会事務局連絡会議（通年 計 13 回）
業務分野ごとに WG を設置（12 月～）、WG 統括会議開催（12、1 月）
シャノン CEO 来訪対応（9 月）
※来道にあわせ、実行委員会各機関との面談を実施

（2）各種調整（通年）

- ・内 容：ATWS 開催に係る関係機関との調整

（3）スポンサー活動

- ・時 期：令和 4 年 9 月～令和 5 年 3 月
- ・内 容：ATWS2023 におけるスポンサー獲得に向けた取組を実施

【決算案及び監査報告書】

資料 1－2 「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道 実行委員会 令和 4 年度
決算書」及び資料 1－3 「監査報告書」のとおり

《参考（関連事業）》

1 北海道運輸局

(1) イベント旅行博出展・旅行会社招請・メディア招請・純広告事業

※北海道エアポート株式会社との連携事業

① イベント旅行博出展（ATWS2022 Lugano, Switzerland）

- ・ ATTA の WEB サイト上における情報事前発信
- ・ 商談会におけるビジネスマッチング

② 旅行会社招請

欧米豪のアドベンチャートラベルを指向する旅行者層を顧客に持つ旅行会社（7社7名）を招請し、PSA をベースにしたモデルコース（全3コース）を PR

実施地域：知床エリア、日高エリア

③ 旅行会社・メディア招請

欧米豪のアドベンチャートラベルを指向する旅行者層を顧客に持つ旅行会社及びメディア（2社2名）を招請し、道東・千歳エリアのアドベンチャートラベルを PR

(2) 訪日外国人旅行者の受入環境に関する検証事業

National Geographic Traveller を招請し、アドベンチャートラベルの認知度向上を図るとともに、受入環境の検証を実施。

実施地域：オホーツク、根室、釧路、白老

(3) 非動力アドベンチャートラベルモデルルートの受入環境に関する検証事業

2021年度に設定した非動力 AT モデルルート等の持続的な運営及びネットワーク形成を目的としたガイドラインを策定するとともに、地域関係者の理解促進を図るためのセミナーを実施

(4) AT ツアーにおけるサステナブル対応磨き上げ事業

PSA 及び DOA などの AT ツアーにおけるツアー内容・サステナブル対応等について磨き上げを実施。

(5) AT スルーガイド研修

マーク・ブラジル博士を有識者に据え、AT 旅行者の期待に応えるためのナレッジを整理・資料化するとともに、現場研修を実施

2 北海道経済産業局

(1) 令和4年度「アドベンチャートラベルワールドサミット 2023 北海道」開催に向けた視察対応及び体制整備調査に関する請負業務

北海道・(公社)北海道観光振興機構と連携して、ATTA 関係者4名を招聘し、ATWS2023 開催に向けた開催会場、関係機関および周辺地域の視察、調査を実施

(2) アドベンチャーツーリズムを通じた十勝の活性化セミナー

十勝地域の AT への理解・関心を高めるため、「AT についての概要」や「AT をきっかけとした（十勝）地域活性化の方向性について」をテーマとしたセミナーを開催

(3) アウトドア・AT X (クロス) イノベーション in 十勝

十勝発のアウトドアや AT 関連ビジネス創出に向け、「十勝×十勝外」「アウトドア×他産業」の事業者間の意見交換・マッチング会を開催

(4) AT 客の飲食需要を取り込むための環境整備支援事業

釧路市内飲食店へ AT の説明や AT 客対応のために必要な取組等の意見交換、及び飲食店向けセミナー（「飲食店がインバウンド対応を行う際に必要な取組を考える」）の開催

3 北海道観光振興機構

(1) アドベンチャートラベル推進事業

ATWS 開催を契機として、アドベンチャートラベルを北海道を代表するツーリズムとするため、次の各事業を実施

- ・オンライン商談会（道内旅行事業者・地域関係者間の商談会、海外旅行事業者と道内旅行事業者との商談会を各 1 回開催）
- ・AT ウェブサイト掲載用モデルコース造成事業（モデルコース 15 本を造成）
- ・サイクルツーリズム推進事業（DOA 5 コースのテストツアーによる磨き上げ）
- ・AT コンテンツ検証事業（夏季 2 コース、冬季 2 コース）
- ・人材育成事業
 - ※Wafa 資格（野外救急資格）研修、アクティビティガイド研修（英語対応力向上を内容）、スルーガイド育成事業（AT コースでの実地研修等）
- ・市場調査事業（等米豪の AT 旅行会社へのアンケート調査）
- ・オンラインシンポジウム開催、認知度向上のための道内 AT プロモーション
- ・AT ポータルサイト制作（英語版・日本語版）
- ・映像制作事業
- ・道外他地域との連携事業（現地調査研究会を道内・道外で各 1 回開催）
- ・ポストサミットアドベンチャー運営計画策定事業（道東地域） など

(2) 共同・協業販路開拓支援補助金事業

ATWS2022 への参加、商談会開催等を実施

4 北海道

(1) アドベンチャートラベルに対応した新しいガイド制度創設に向けた準備

- ・北海道観光審議会、専門部会（アドベンチャートラベル部会）、4 つのワーキンググループにおける学識者、旅行業者、ガイド等との意見交換（延べ 10 回）
- ・トライアル事業の実施（座学及び屋外研修、2 回開催）
- ・制度案を策定し、パブリックコメントを実施

5 札幌市

(1) アドベンチャートラベル理解促進・商品造成事業

AT への理解促進、販路拡大、コンテンツのレベルアップを目的とし、観光関連事業者に向けたセミナー、DOA の実踏によるワークショップ、新たな商品造成及びモニターツアーを実施

6 釧路市

- (1) AT 体制整備事業
AT 推進人材等の配置 (7 名)、英語通訳ガイド勉強会・実践トレーニング (8~2 月、計 6 回)、AT 基礎講座セミナー (9~11 月、計 3 回)、DMC による ATWS2022 スイス出展及びネットワーキング (10 月、計 67 社)、AT ツアー造成及びモニターツアー (10 月)、AT エキスパート育成講座 (10~11 月、計 2 回)、AT 取扱旅行会社 (国内) へのセールス (2 月、計 6 社)
- (2) AT マーケティング強化事業
北海道運輸局・北海道エアポート (HAP) と連携した海外バイヤー等招請事業 (9 月・2 月)、AT 特設ページ作成

7 JNTO

- (1) ATWS2022 における情報発信事業
ジャパンラウンジ運営、プレゼンテーション、商談会等
- (2) アドベンチャートラベル動画制作及び情報発信事業
Virtual Japan Adventure を活用した動画制作、新規動画撮影及び動画広告
- (3) アドベンチャートラベルページ情報拡充及び情報発信事業
AT 特設ページの情報拡充及び誘引広告
- (4) AT 市場調査事業
AT 旅行会社調査及び AT 旅行者調査を通じた AT 市場調査
- (5) 北米市場における AT 関連事業
Elevate2022 への出展、アウトドアツーリズムに特化した商談会開催

8 北海道商工会議所連合会

- (1) モニターツアー開催
北海道の AT の魅力を発信するため、モニターツアーを開催。対象者は北海道観光マスター検定に合格した観光マスターの会会員とし、参加者はツアー終了後 SNS (Instagram、Facebook 等) 投稿による情報発信を実施。
 - ① 然別湖カヤックツアー (7 月 30 日、鹿追町、10 名参加)
 - ② 美唄サイクリングツアー (9 月 3 日、美唄市、10 名参加)

9 日本航空

- (1) AT ページの制作
Guide to Japan に AT の魅力を発信するため、AT 専用ページを制作
<https://www.jal.co.jp/ar/en/guide-to-japan/experiences/adventure/ultimate-adventure-destinations-in-japan/index.html>
- (2) 機内誌 SKYWARD 「LOCAL INNOVATORS」で北海道アウトドアマスターガイド紹介
2022 年 10 月号の「LOCAL INNOVATORS」で「写真家・北海道アウトドアマスターガイド 安藤 誠 氏」を紹介

(3) AT ツアー実施

AT の魅力を感じてもらおうためのツアーを販売。アウトドアマスターガイドとめぐる「冬の北海道鶴居村でタンチョウ観察 日常の奇跡に出会う旅 4 日間」(2022 年 12 月～2023 年 3 月 合計 6 本の実施)

10 全日本空輸

(1) AT ツアー実施

① 「日本を旅しよう！」

猛禽類(もうきんるい) 医学研究所 齊藤獣医師と学ぶ野生動物との共生と環境 釧路・根室 3 泊 2 本設定。

(https://www.ana.co.jp/ja/jp/domestic/theme/luxetravel/kushiro_nemuro/)

② 「日本を旅しよう！」

「北海道の大自然に感動！！ マスターガイドと巡る道東・野生動物観察 4 日間」
2 本設定。

アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会
令和4年度 決算案

(収 入)

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	増減額
1 前年度繰越金	820,292	820,292	0
2 負担金収入（北海道及び市町村）	46,054,000	50,903,000	4,849,000
3 協賛金収入	6,000,000	1,000,000	-5,000,000
4 その他（利子収入、立替払い分精算）	0	2,595,539	2,595,539
計	52,874,292	55,318,831	2,444,539

(支 出)

科 目	当初予算額	更正後予算額	決算額	増減額
1 事業費	47,851,200	37,851,200	29,136,864	-8,714,336
(1) ATWS2023実施計画作成 ・外部アドバイザー費用	3,600,000	6,820,000	6,801,000	-19,000
(2) ATWS2022出展等 ・出展費、旅費等	25,058,000	16,838,000	10,883,276	-5,954,724
(3) ATTA道内視察対応 ・ATTA招聘旅費（道内開催地視察）	2,776,000	1,776,000	116,950	-1,659,050
(4) Post Summit Adventure造成費 ・コンテンツ検証、コース造成	12,000,000	8,000,000	8,777,028	777,028
(5) 広報費 ・広告料（ATWS2023に向けた機運醸成）	3,250,000	3,250,000	2,157,800	-1,092,200
(6) 事務局旅費 ・道内関係者との調整、スポンサー獲得活動	1,167,200	1,167,200	400,810	-766,390
2 事務局経費	3,553,000	3,553,000	2,161,114	-1,391,886
(1) 事務局運営費 ・Wifiレンタル、タブレットレンタル、パソコンリース 等	2,641,000	2,641,000	2,076,507	-564,493
(2) 事務局予算管理費 ・振込料、通信費、消耗費 等	912,000	912,000	84,607	-827,393
3 その他	1,470,092	11,470,092	24,020,853	12,550,761
(1) 予備費（翌年度繰越金）	1,470,092	11,470,092	24,020,853	12,550,761
合 計	52,874,292	52,874,292	55,318,831	2,444,539

監査報告書

令和5年5月18日

アドベンチャートラベル・ワールドサミット
北海道実行委員会
会長 鈴木 直道 様

アドベンチャートラベル・ワールドサミット
北海道実行委員会

監事 真弓 明彦



令和4年(2022年)度における会計及び業務の監査結果について、次のとおり報告する。

記

1 監査の方法及びその内容

幹事会及び総会資料並びに各幹事及び事務局職員より、職務の執行状況について報告を受け、また必要に応じて説明を求め、さらに関係書類を確認するなどして当該年度事業に係る事業報告について監査を行った。

また、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る会計書類について監査を行った。

2 監査意見

(1) 事業報告などの監査結果

事業報告の内容は適切であると認める。

また、委員の職務執行に関する不正の行為若しくは法令又は規約に違反する重大な過失はないと認める。

(2) 会計書類及びその付属書類の監査結果

会計及びその付属書類は、実行委員会の損益の状況の全ての重要な点を適正に示しているものと認める。

監査報告書

令和5年5月22日

アドベンチャートラベル・ワールドサミット
北海道実行委員会
会長 鈴木 直道 様

アドベンチャートラベル・ワールドサミット
北海道実行委員会

監事 安田 光春



令和4年(2022年)度における会計及び業務の監査結果について、次のとおり報告する。

記

1 監査の方法及びその内容

幹事会及び総会資料並びに各幹事及び事務局職員より、職務の執行状況について報告を受け、また必要に応じて説明を求め、さらに関係書類を確認するなどして当該年度事業に係る事業報告について監査を行った。

また、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る会計書類について監査を行った。

2 監査意見

(1) 事業報告などの監査結果

事業報告の内容は適切であると認める。

また、委員の職務執行に関する不正の行為若しくは法令又は規約に違反する重大な過失はないと認める。

(2) 会計書類及びその付属書類の監査結果

会計及びその付属書類は、実行委員会の損益の状況の全ての重要な点を適正に示しているものと認める。

令和5年(2023年)度実施予定事業計画

【概要】

実行委員会の各構成員が一体となって ATWS2023 の円滑な運営を確保するため、連携のうえ次の取組を実施する。

【各事業の内容】

1 ATWS2023 実施運営事業

時期：令和5年4月～12月

内容：ATWS2023（9月11日～14日）の円滑な運営のため、開催地として次の事業を実施

- ・会場の設営、受付、食事等提供（前日受付（9月10日）：大通ビッセ）
（主会場：札幌コンベンションセンター）
- ・レセプションの開催（ウェルカムレセプション（9/11）：さっぽろテレビ塔1階）
（オープニングレセプション（9/12）：大倉山ジャンプ競技場）
- ・ATWS 招待参加者への対応（交通・宿泊の確保）
- ・PSA・DOA の開催
 - 【PSA】：9月4日～10日 【22コース（道内15、道外7）】
※参加者の一部を対象に実施。開始日はコースにより異なる
 - 【DOA】9月11日 【31コース】
※参加者全員を対象として実施する日帰りツアー
- ・ホスト地域としての PR
（会場にラウンジを設置し、北海道及び日本の PR を実施。各機関・地域と連携し実施）

2 Post Summit Adventure 実施運営事業（4地域）

ATWS2023 会期終了後に、道内4地域（釧路・十勝・北宗谷・上川）において招待制のエクスカッションを実施

時期：令和5年4月～12月（開催日：9月15日～18日）

内容：コンベンション会期後に開催する Post Summit Adventure の実施運営（コース催行、交流会実施等。各地域8名の参加を予定）

3 Adventure Elevate2023 出展事業

時期：令和5年4月～6月

内容：5月に開催される ADVENTURE ELEVATE Portland Maine への出展、会場における各種 PR の実施

4 広報宣伝活動

時期：通年

内容：ATWS の開催周知及び AT ディスティネーションとしての北海道・日本の認知度を向上するための HP 等による情報発信、事務局運営に必要な情報開示等

5 スポンサー活動（追加分）

時 期：令和5年9月まで

内 容：ATWS2023 開催に向けたスポンサー獲得に向けた取組

6 各種調整

時 期：通年

内 容：ATWS2023 開催に向けた関係者との連絡調整

7 事務局運営

(1) 会議運営

時 期：通年

内 容：実行委員会総会（5～6、7月）

実行委員会幹事会（5～6、7月）

ATTA とのテレビカンファレンス（通年）

各 WG の開催、WG 統括会議（通年）

(2) 事務局運営

時 期：通年

内 容：ATWS2023 開催準備や各種対応を行うための事務運営

【予 算 案】

令和5年度予算補正案については資料2-2「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会令和5年度 予算案」のとおり。

《参考（各機関が行う関連事業）》

1 北海道運輸局

(1) 観光再始動事業（予定）

- ・沖縄県庁ほかと連携し、沖縄と北海道を繋ぐ広域・長期間のアドベンチャートラベルツアーを造成し、AT 旅行者の実送を行うほか、欧州ハイクラス企業等にアプローチし、誘客チャンネルの強化を図る（申請中、採択の可否は今後判明）。

※北海道庁、沖縄県庁、沖縄総合事務局等との連携事業

2 北海道経済産業局

(1) ATWS2023「ウエルカム飲食店」登録事業者募集

ATWS 参加者へ札幌の飲食店を PR し、ATWS 終了後の AT 旅行者の来店機会増加を図るため、ATWS 参加者の来訪を歓迎する「ウエルカム飲食店」を公募し、登録飲食店を ATWS 参加者へ周知する。（札幌市との連携事業）

また、釧路地域のポストサミットアドベンチャー参加者向けにも、同様の事業を実施。（釧路市との連携事業）

3 北海道観光振興機構

(1) プロモーション

ポータルサイト改良、映像制作、旅行博（ELEVATE等）参加

(2) 商品造成・販売体制構築

AT ツアー商品造成、国内連携商品造成及び商談会
ポストサミットアドベンチャーモニターツアー事業

(3) その他

シンポジウム開催（4月28日開催済）
ATWS2023を活用した調査事業

4 北海道

北海道におけるATに対応した新たなガイド制度の試行

5 札幌市

(1) アドベンチャートラベル商品造成・販路拡大支援事業

札幌での活躍が期待できるガイドに向けたフィールド研修、当該ガイドが案内する新規ツアーの造成・モニターツアーの実施等により、質的・量的ともにAT関係人材の強化を図る。

6 釧路市

(1) AT体制整備事業

AT推進人材等の配置、ATツアープログラムの磨き上げ、AT人材、ガイド、受入事業者の育成及び機運醸成、DMCによるATWS2023出展及びネットワーク等

(2) ATマーケティング強化事業

ATデジタルプロモーション事業の実施、ATコンテンツの情報発信及びテストマーケティング事業の実施、海外バイヤー等招請事業の実施

7 JNTO

(1) Adventure Elevate2023出展事業

プレゼンテーション、商談会等

(2) ATWS2023における情報発信事業

ジャパンラウンジ運営、プレゼンテーション、商談会等

(3) AT特設サイト運営・情報拡充事業

AT特設サイトメンテナンス及びコンテンツ拡充

(4) AT関心層向け広告事業

誘引広告及びATTA推奨メディアと連携した記事広告

(5) AT関連招請事業

メディア招請（米国・豪州市場）、旅行会社招請（米国、豪州、イタリア市場など）

8 北海道商工会議所連合会

(1) モニターツアーの開催（予定）

北海道のATの魅力を発信するため、モニターツアーを開催

9 日本航空

(1) AT ツアーの実施

北海道の AT の魅力を伝えるためのツアー「アウトドアマスターガイドとめぐる 水の大地“釧路湿原”と悠久の“阿寒摩周”国立公園を訪ねる 星空カヌー&特別保護区散策4日間」を実施（2023年7月～8月合計6本）

10 全日本空輸

(1) AT ツアーの実施

- ① 北海道の AT の魅力を伝えるためのツアー「アウトドアマスターガイドとめぐる 水の大地“釧路湿原”と悠久の“阿寒摩周”国立公園を訪ねる 星空カヌー&特別保護区散策4日間」を実施（2023年7月～8月合計6本）
- ② 北海道の AT の魅力を伝えるためのツアー「アウトドアマスターガイドとめぐる 水の大地“釧路湿原”と悠久の“阿寒摩周”国立公園を訪ねる 星空カヌー&特別保護区散策4日間」を実施（2023年7月～8月合計6本）

アドベンチャーtravel・ワールドサミット北海道実行委員会
令和5年度 予算案

(収 入)

(単位：円)

科 目	予算額
1 前年度繰越金	24,020,853
2 国及び地方公共団体負担分	232,551,000
3 協賛金収入	6,000,000
4 その他(利子収入等)	147
計	262,572,000

(支 出)

科 目	予算額
1 事業費	252,211,700
(1) ATWS2023実施運営事業 ・大会運営、各種レセプション運営、招待者のロジスティックス手配等	210,550,000
(2) Post Summit Adventure実施運営事業 ・コース催行、商談会実施等	28,000,000
(3) Adventure Elevate2023出展事業 ・出展費、旅費等	5,000,000
(4) 広報費 ・広告料(ATWS2023に向けた機運醸成)	5,700,000
(5) 事務局旅費 ・道内関係者との調整、スポンサー獲得活動	2,961,700
2 事務局経費	6,335,000
(1) 事務局運営費 ・Wifiレンタル、タブレットレンタル、パソコンリース 等	5,241,000
(2) 事務局予算管理費 ・振込料、通信費、消耗費 等	1,094,000
3 その他	4,025,300
(1) 予備費	
合 計	262,572,000

ATWS北海道実行委員会の主な取組

R4年(2022)度実績

① ATWS2023開催に向けた準備

- **ATWS2022への参加・出展**
- **実施計画の作成**
- **ATTA招聘**(実行委員会、経済産業局、観光機構等)

② 機運醸成・認知度向上

- **ATWS2023に向けた機運醸成**(実行委員会等)
- **PR動画制作・充実**(観光機構・JNTOなど)
- **シンポジウム・セミナー開催**
(観光機構、経済産業局ほか)
- **webサイト整備**(観光機構・JNTOなど)

③ 質の高いガイド等の育成・確保

- **新たなガイド制度の検討**(北海道)
- **スルーガイド研修**(運輸局・観光機構)
- **野外救急救命の研修**(観光機構)
- **外国語能力研修**(観光機構)

④ 魅力あるコンテンツ・コースの設定

- **冬季を含めた通年の商品造成**(観光機構)
- **ATツアーの磨き上げ、検証**(運輸局・観光機構)
- **ポストサミットアドベンチャー商品造成**
- **DOA、PSAの充実**(運輸局・実行委員会)

⑤ 商品販売体制の整備

- **ポストサミットアドベンチャー商品造成【再掲】**
- **冬季を含めた通年の商品造成【再掲】**(観光機構)
- **商談会の開催**(観光機構・JNTOなど)
- **旅行会社招請**(運輸局)

【凡例】

- ...実行委員会が主体となるもの
- ...各機関が主体となるもの
- 赤字下線**：当該年度から始まった取組

R5年(2023)度計画

① ATWS2023開催運営

- **会場運営、受付、食事等提供**
- **レセプション開催**
- **招待参加者への対応(交通・宿泊確保)**
- **PSA、DOAの実施**
- **ATWS2023における北海道・日本のPR**
(観光機構・JNTOなど)
- **ポストサミットアドベンチャーの運営**
- **広報活動、スポンサー活動、事務局運営**

② 機運醸成・認知度向上

- **ATWS2023に向けた機運醸成**(実行委員会等)
- **PR映像制作・発信**(観光機構など)
- **シンポジウム開催**(観光機構)
- **webサイト改良**(観光機構など)

③ 質の高いガイド等の育成・確保

- **新たなガイド制度の試行(※)**(北海道)

④ 魅力あるコンテンツ・コースの設定

- **ATツアー商品造成**(観光機構、運輸局など)
- **「ウェルカム飲食店」登録事業者募集**
(経済産業局)

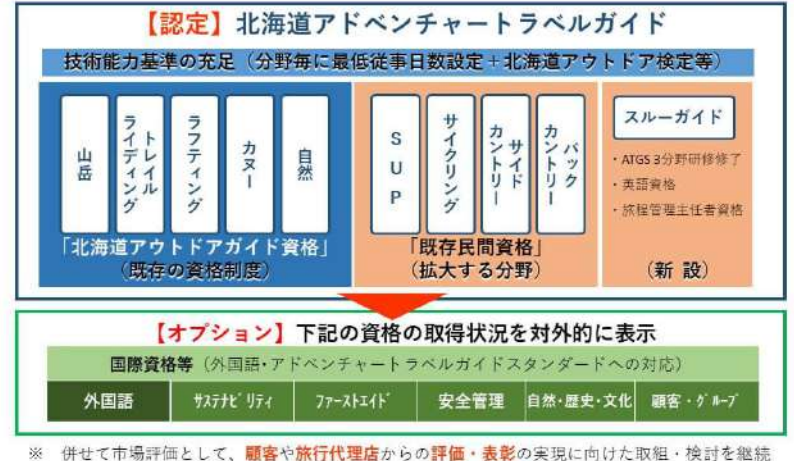
⑤ 商品販売体制の整備

- **ATツアー商品造成【再掲】**
(観光機構、運輸局など)
- **ポストサミットアドベンチャーのテスト開催**
(観光機構)
- **商談会の開催**(観光機構など)
- **ATWS2023を活用した調査事業**(観光機構)
- **旅行会社・メディア等招請**(JNTOなど)

※新たなガイド制度について

道内を訪れるアドベンチャートラベラーに対し、道内各地の恵まれた自然環境や、アイヌ文化・縄文遺跡群といった独自の魅力を活用・紹介し、北海道でアドベンチャートラベルを安心して楽しんでいただくため、国際資格を含む一定の基準を満たすガイドを北海道知事が認定する制度。2023年度から試行開始。

北海道アドベンチャートラベルガイド認定等制度【概要】



※ATGS(アドベンチャートラベルガイドスタンダード)：ATに関する国際的団体であるアドベンチャートラベル・ワールドアソシエーション(ATTA)が、アドベンチャートラベルガイドに必要な幅広いスキルや役割・責任等をまとめたガイドライン

アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会規約 新旧対照表

新	旧
<p>第1条～第19条 (略)</p> <p>附 則 この規約は、令和2年(2020年)4月17日から施行する。</p> <p>附 則(令和3年(2021年)9月6日改正) この規約は、令和3年(2021年)9月6日から施行する。</p> <p>附 則(令和4年(2022年)5月24日改正) この規約は、令和4年(2022年)5月24日から施行する。</p> <p>附 則(令和4年(2022年)9月20日改正) この規約は、令和4年(2022年)9月20日から施行する。</p> <p>附 則(令和4年(2022年)11月15日改正) この規約は、令和4年(2022年)11月15日から施行する。</p> <p><u>附 則(令和5年(2023年) 月 日改正)</u> <u>この規約は、令和5年(2023年) 月 日から施行する。</u></p>	<p>第1条～第19条 (略)</p> <p>附 則 この規約は、令和2年(2020年)4月17日から施行する。</p> <p>附 則(令和3年(2021年)9月6日改正) この規約は、令和3年(2021年)9月6日から施行する。</p> <p>附 則(令和4年(2022年)5月24日改正) この規約は、令和4年(2022年)5月24日から施行する。</p> <p>附 則(令和4年(2022年)9月20日改正) この規約は、令和4年(2022年)9月20日から施行する。</p> <p>附 則(令和4年(2022年)11月15日改正) この規約は、令和4年(2022年)11月15日から施行する。</p>

新

旧

(別表1)

○委員

所 属	職 名	備 考
北海道	知事	会長
公益社団法人北海道観光振興機構	会長	筆頭副会長
札幌市	市長	副会長
釧路市	市長	副会長
帯広市	市長	副会長
稚内市	市長	副会長
旭川市	市長	副会長
国土交通省北海道運輸局	局長	副会長
経済産業省北海道経済産業局	局長	副会長
北海道経済連合会	会長	監事
北海道経済同友会	代表幹事	監事
一般社団法人北海道商工会議所連合会	会頭	
北海道商工会連合会	会長	
北海道アドベンチャートラベル協議会	会長	
一般社団法人北海道体験観光推進協議会	代表理事	
日本航空株式会社	<u>執行役員 北海道支社長</u>	
全日本空輸株式会社	札幌支店・支店長	
株式会社AIRDO	代表取締役社長	
北海道エアポート株式会社	代表取締役社長	
北海道旅客鉄道株式会社	代表取締役社長	
一般社団法人北海道バス協会	会長	
一般社団法人日本旅行業協会	北海道支部長	
一般社団法人全国旅行業協会	北海道支部長	

(別表1)

○委員

所 属	職 名	備 考
北海道	知事	会長
公益社団法人北海道観光振興機構	会長	筆頭副会長
札幌市	市長	副会長
釧路市	市長	副会長
帯広市	市長	副会長
稚内市	市長	副会長
旭川市	市長	副会長
国土交通省北海道運輸局	局長	副会長
経済産業省北海道経済産業局	局長	副会長
北海道経済連合会	会長	監事
北海道経済同友会	代表幹事	監事
一般社団法人北海道商工会議所連合会	会頭	
北海道商工会連合会	会長	
北海道アドベンチャートラベル協議会	会長	
一般社団法人北海道体験観光推進協議会	代表理事	
日本航空株式会社	北海道支社長	
全日本空輸株式会社	札幌支店・支店長	
株式会社AIRDO	代表取締役社長	
北海道エアポート株式会社	代表取締役社長	
北海道旅客鉄道株式会社	代表取締役社長	
一般社団法人北海道バス協会	会長	
一般社団法人日本旅行業協会	北海道支部長	
一般社団法人全国旅行業協会	北海道支部長	

新

(別表3)

○幹事

所属	職名	備考
北海道	経済部観光局アドベンチャートラベル担当局長	幹事長
公益社団法人北海道観光振興機構	事務局長	
札幌市	<u>経済観光局観光・MICE推進部観光地域づくり担当部長</u>	
釧路市	産業振興部観光振興担当部長	
帯広市	経済部 <u>観光交流室長</u>	
稚内市	建設産業部長	
旭川市	観光スポーツ交流部長	
国土交通省北海道運輸局	観光部長	
経済産業省北海道経済産業局	総務企画部長	
北海道経済連合会	常務理事	
北海道経済同友会	専務理事事務局長	
一般社団法人北海道商工会議所連合会	常務理事	
北海道商工会連合会	専務理事	
北海道アドベンチャートラベル協議会	会長	
一般社団法人北海道体験観光推進協議会	専務理事	
日本航空株式会社	北海道支社事業部部長	
全日本空輸株式会社	札幌支店・支店長	
株式会社AIRDO	営業部長	
北海道エアポート株式会社	営業開発本部観光開発部部長	
北海道旅客鉄道株式会社	営業部インバウンドグループ課長	
一般社団法人北海道バス協会	常務理事	
一般社団法人日本旅行業協会	北海道事務局事務局長	
一般社団法人全国旅行業協会	北海道支部事務局長	

旧

(別表3)

○幹事

所属	職名	備考
北海道	経済部観光局アドベンチャートラベル担当局長	幹事長
公益社団法人北海道観光振興機構	事務局長	
札幌市	経済観光局観光・MICE推進部長	
釧路市	産業振興部観光振興担当部長	
帯広市	経済部参事	
稚内市	建設産業部長	
旭川市	観光スポーツ交流部長	
国土交通省北海道運輸局	観光部長	
経済産業省北海道経済産業局	総務企画部長	
北海道経済連合会	常務理事	
北海道経済同友会	専務理事事務局長	
一般社団法人北海道商工会議所連合会	常務理事	
北海道商工会連合会	専務理事	
北海道アドベンチャートラベル協議会	会長	
一般社団法人北海道体験観光推進協議会	専務理事	
日本航空株式会社	北海道支社事業部部長	
全日本空輸株式会社	札幌支店・支店長	
株式会社AIRDO	営業部長	
北海道エアポート株式会社	営業開発本部観光開発部部長	
北海道旅客鉄道株式会社	営業部インバウンドグループ課長	
一般社団法人北海道バス協会	常務理事	
一般社団法人日本旅行業協会	北海道事務局事務局長	
一般社団法人全国旅行業協会	北海道支部事務局長	